

授業方法について独自に工夫していること 【創造科学系】

体カトレーニング論, コーチ学共に講義形式の授業であるが, 学生同士の学び合いの時間を設けている。今年度よりコーチ学ではC-Learningを活用し, 即時的なアンケートなどICTを活用した授業を展開した。

機材等の問題で一度に作業ができる人数が限られているので, グループごとに分かれて異なる課題に取り組めるようカリキュラムデザインをしている。
グループでの共同制作や, 作品についての講評を相互にし合うなどして, コミュニケーション能力や気持ち・感想等を言語化する能力の向上を目指している。

実技授業のため, 学生個人が予習や復習を行うのが難しい。そのため, 毎授業の初めに, 前回の復習の時間を十分に割くことによって, できない状態で次の内容に進むことを極力なくすようにしている。また, 学生同士で相談させながら互いに教えあう時間を設けることによって, 能動的に授業に取り組めるようにしている。

単なるデザイン実技の経験に留まらず, 学生本人たちの頭の中になかったような新しい発想をうまく導けるような課題設定と展開をするようにしている。
また, PCとプロジェクターを使って, アプリケーションの習熟度を高めるようにしている。

美術館で撮影した画像を使い, 全体も細部も説明する。
学生がノートを取りたいようなことはすべてプリントに書いて配布する。

- ・教科書を軸に, 写真などを多用し, 実例を示しながら説明をする。
- ・製図のプロセスや記号などを理解できるように, 手を動かす演習を取り入れている。

学生さん自身の「気づき」を促すことができるように課題の設定や指導方法を考えながら授業を組み立てるよう努めています。

各々の学生のレベルに合った曲を課題として出している。

4人ずつのグループに分けて, そのグループの学生のレベルに合った曲を課題として出している。
と同時に, 他のグループの課題や発声法を学べるように授業運営をしている。

演習・実習を取り入れた主体的・対話的で深い学びの講義を展開しています。

- ・授業内容に関連した最新の研究報告を用いて講義を行った
- ・なるべく学生に考えさせるために, すべての学生に質問を行うように工夫した。

以前担当していた先生の工夫ですが, 小児保健と精神保健は, 学内の医師の先生に講義していただいています。
授業後の課題に対する回答は, 無記名でプリントにまとめ受講生で共有しています。

電気を学ぶ者にとって最も基礎的な内容であるため図を多用し、具体的にイメージできるような授業方法をとっている。学習者とのキャッチボールを重要視し授業を進めている。授業者の理解度を確認するため毎回の小テストを実施している。[1571111電気I]
最近の電子デバイス話題を盛り込み、学習者のモチベーションを維持するよう努めている。[3573141電子工学II]

実習には、自宅復習用としてワークシートを作成し、教育効果を高める工夫をした。